



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ピエトロ

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 池田 邦雄

TEL 092-724-4927

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,329	△6.0	127	△37.3	123	△38.3	53	△42.5
26年3月期第1四半期	2,477	1.3	202	50.0	200	54.7	92	102.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 52百万円 (△44.5%) 26年3月期第1四半期 94百万円 (135.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	9.56	—
26年3月期第1四半期	16.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
27年3月期第1四半期	7,381		3,343		45.3		598.02	
26年3月期	7,439		3,397		45.7		607.65	

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,343百万円 26年3月期 3,397百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	9.4	560	2.8	540	1.5	250	4.5	44.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	5,591,630 株	26年3月期	5,591,630 株
27年3月期1Q	497 株	26年3月期	497 株
27年3月期1Q	5,591,133 株	26年3月期1Q	5,591,133 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税の影響から個人消費が冷え込むなど、景気減速傾向で推移いたしました。

食品業界及び外食業界におきましては、増税前の駆け込み需要の反動や慎重な消費行動などが見られるものの、徐々に回復に向かうものと思われまます。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」にこだわった付加価値の高い商品やサービスのご提供をとおして、ブランド価値の向上に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、消費税増税による消費マインド低下の影響などから、23億29百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

利益面では、販管費の節減に努めましたが、売上げの減少により、営業利益は1億27百万円（前年同期比37.3%減）、経常利益は1億23百万円（前年同期比38.3%減）、四半期純利益は53百万円（前年同期比42.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、「通信販売事業」については「食品事業」のセグメントに含めることにいたしました。

以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

#### ①食品事業

ブランド戦略に基づくきめ細やかな営業により、カロリーを抑えたドレッシングやパスタソースが順調に売り上げを伸ばしました。また、ヘルシーで豊かな味わいの「オリーブオイル・ドレッシング・シリーズ」と、玉ねぎのおいしさをさらに加えた「生搾りドレッシング・シリーズ」の定着化を図ってまいりました。

さらに、ドレッシングを「万能調味料」として使う提案を行うことにより、売り場拡大を図っております。

一方、通信販売限定商品につきましては、健康への意識の高いお客様へ向けて、低カロリーで塩分を抑えた「PIETRO Kenkou」シリーズの投入を図り、その第1弾としてパスタ3品を発売いたしました。

しかしながら、消費税増税による消費者の買い控えが広がったことから、売上高は16億45百万円（前年同期比6.4%減）、セグメント利益は5億52百万円（前年同期比5.6%減）となりました。

#### ②レストラン事業

本年4月にグランドメニューを一部改定し、ピエトロオリジナルの麺を使用した、「プレミアム スープ生パスタ」を中心に、メニューの充実を図りました。また、今期も地元企業とのコラボレーションによる「冷製パスタフェア」を実施し、ご好評をいただいております。

さらに、店舗限定メニューとして、自家製ヨーグルトを加えた「ヨーグルト スフレ パンケーキ」を提供し、テイクアウトのメニューを強化いたしました。

店舗展開につきましては、4月に「筑紫通り店」を新規オープンし、5月には「ソラリア店」をリニューアルオープンするなど、立地に応じた魅力ある店舗づくりを行い、新たな顧客の取り込みに注力してまいりました。

以上のとおりサービスの向上を図ってまいりましたが、消費税増税による来客数の減少とFC店の店舗減少などにより、売上高は6億47百万円（前年同期比5.1%減）、セグメント損失は11百万円（前年同期は11百万円のセグメント利益）となりました。

#### ③その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、ほぼ計画通りに推移し、売上高は36百万円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益は17百万円（前年同期比12.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ58百万円減少し73億81百万円となりました。これは主に現金及び預金が41百万円、売掛金が11百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4百万円減少し40億37百万円となりました。これは主に買掛金が29百万円、役員退職慰労引当金が48百万円それぞれ増加する一方、未払法人税等の減少1億24百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ53百万円減少し33億43百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億6百万円及び四半期純利益53百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、原材料価格やエネルギーコストの上昇など、予断を許さない状況が続くものと思われま

す。当社グループは、「おいしさと健康」を意識した商品のご提供をとおして、お客様満足度のさらなる向上に努めてまいります。

なお、平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,025,778	984,433
預け金	43,685	38,476
売掛金	1,176,746	1,165,192
商品及び製品	90,973	102,332
仕掛品	3,149	3,197
原材料及び貯蔵品	112,338	135,062
繰延税金資産	33,821	18,411
その他	104,162	124,486
貸倒引当金	△749	△610
流動資産合計	2,589,906	2,570,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,444,913	1,499,106
土地	2,006,202	2,006,202
その他(純額)	222,322	222,781
有形固定資産合計	3,673,438	3,728,090
無形固定資産	65,232	61,844
投資その他の資産		
敷金及び保証金	454,659	443,284
保険積立金	389,199	414,958
その他	286,637	181,386
貸倒引当金	△19,409	△19,320
投資その他の資産合計	1,111,087	1,020,309
固定資産合計	4,849,759	4,810,244
資産合計	7,439,666	7,381,224
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	416,227	445,903
短期借入金	1,250,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	118,160	113,150
未払金	348,500	345,065
未払法人税等	185,167	60,387
賞与引当金	46,439	26,724
その他	238,725	331,679
流動負債合計	2,603,219	2,572,911
固定負債		
長期借入金	545,832	519,582
役員退職慰労引当金	565,384	614,222
退職給付に係る負債	65,737	65,808
資産除去債務	47,996	56,531
その他	214,051	208,554
固定負債合計	1,439,001	1,464,698
負債合計	4,042,221	4,037,610

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	2,390,668	2,337,905
自己株式	△449	△449
株主資本合計	3,381,541	3,328,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,494	14,646
為替換算調整勘定	409	189
その他の包括利益累計額合計	15,904	14,836
純資産合計	3,397,445	3,343,614
負債純資産合計	7,439,666	7,381,224

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,477,513	2,329,015
売上原価	995,780	931,694
売上総利益	1,481,732	1,397,321
販売費及び一般管理費	1,279,069	1,270,252
営業利益	202,662	127,068
営業外収益		
受取利息	48	96
受取配当金	81	116
役員退職慰労引当金戻入額	—	1,645
為替差益	2,742	—
その他	166	312
営業外収益合計	3,038	2,170
営業外費用		
支払利息	3,332	3,039
シンジケートローン手数料	1,581	1,598
その他	24	638
営業外費用合計	4,938	5,277
経常利益	200,762	123,961
特別損失		
固定資産除却損	79	770
特別損失合計	79	770
税金等調整前四半期純利益	200,683	123,190
法人税、住民税及び事業税	89,900	50,593
法人税等調整額	17,864	19,129
法人税等合計	107,765	69,722
少数株主損益調整前四半期純利益	92,918	53,468
少数株主利益	2	—
四半期純利益	92,915	53,468

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	92,918	53,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,483	△847
為替換算調整勘定	△26	△220
その他の包括利益合計	1,456	△1,067
四半期包括利益	94,374	52,400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,379	52,400
少数株主に係る四半期包括利益	△5	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,757,117	681,867	38,528	2,477,513	—	2,477,513
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	487	487	△487	—
計	1,757,117	681,867	39,015	2,478,000	△487	2,477,513
セグメント利益	585,454	11,938	19,470	616,863	△414,201	202,662

(注)1 セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は414,201千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,645,046	647,057	36,911	2,329,015	—	2,329,015
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	487	487	△487	—
計	1,645,046	647,057	37,398	2,329,503	△487	2,329,015
セグメント利益 又は損失(△)	552,947	△11,779	17,086	558,255	△431,186	127,068

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は431,186千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、「通信販売事業」につきましては、量的な重要性が乏しくなったため、経済的特徴及び製品等の要素が概ね類似する「食品事業」に含めることにいたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。